

2019年5月29日

第19-018号

パーソナルモニター付きの新シート導入により、 さらに快適で充実した国内線の旅を提供します

～プレミアムクラス・普通席のシートを一新します～
～国内線最上位クラス「プレミアムクラス」を増席します～

ANA は 2019 年秋より、国内線主力機のプレミアムクラス・普通席全席に、パーソナルモニター付きの新シートを導入し、さらに快適で充実した国内線の旅をご提供します。

2017 年秋から、「今までにない機内での過ごし方の提供」をテーマに、国内線プレミアムクラスの食事のリニューアルや、国内線機内 Wi-Fi インターネットの無料化、機内 Wi-Fi エンターテインメントの充実などに取り組んでまいりました。

2019 年秋から、プレミアムクラスには新たに 15.6 インチのタッチパネル式パーソナルモニター付の電動リクライニングシートを導入します。また、より多くのお客様にプレミアムクラスをお楽しみ頂けるよう、これまで最大 21 席のプレミアムクラス設定を 28 席まで増席します。

普通席には、自動車用シート業界でトップクラスのトヨタ紡織と共同開発した新シートを導入します。現在、国内線ボーイング 767-300 型機にてご好評いただいているシートの快適性をさらに進化させるとともに、国内線普通席としては最大となる 11.6 インチのタッチパネル式パーソナルモニターを装着します。2017 年度より順次パーソナルモニターを導入しているエアバスA321neo 型機と合わせて、国内線のパーソナルモニター付き機材は 2022 年度上期までに計 41 機となる予定です。

ANA は、国内唯一の 7 年連続 5 スターエアラインとして今後も恒常的なサービス向上に努めてまいります。

1. 概要

- (1) 対象機材 : 国内線ボーイング 777-200 型機 8 機、ボーイング 787-8 型機 11 機
- (2) 導入時期 : 2019 年秋予定。2022 年度上期までに順次導入してまいります。

2. プレミアムクラスの新シートならびに、増席について

ご好評をいただいているプレミアムクラスには、快適性・機能性が向上した SAFRAN 社製の新シートを導入します。また、国内線最上位クラスとして、シート全体の質感や色柄、ファブリックなどをより重厚感のあるデザインに一新します。

(1) 新シートの特徴

■タッチパネル式パーソナルモニターの装着

・ANA の国内線中・大型機としては最大となる 15.6 インチのタッチパネル式パーソナルモニターを装着。操作性の向上に加え、国内線機内 Wi-Fi エンターテインメントとしてビデオ番組やオーディオ番組、電子書籍など約 190 コンテンツを高画質でお楽しみいただけます。



ANA 広報部 03-6735-1111 成田 0476-31-6007 羽田 03-5757-5548 伊丹 06-6856-0270 関西 072-456-7890

■快適性、機能性へのこだわり

- ・タッチパネル式シートコントロールを採用した電動リクライニングシートを装着。
- ・メーカーの知見も得ながら、シートクッションの座り心地など快適性を追求。
- ・座席横には、ペットボトルなどが収納できる小物入れを設置。
- ・90度に回転する大型のテーブルや収納式のサイドテーブルを装備し、パーソナルスペースを拡充。
- ・プライベート空間確保のため、座席間には大型ディバイダーを設置。
- ・PC電源・USBポートも設置。

(2) 増席について

今回一新する新シートをより多くのお客様にご利用いただけるよう、国内線プレミアムクラスを増席いたします。

対象機材(計 19 機)	現行の座席数	新仕様の座席数
国内線ボーイング 777-200 型機 8 機	プレミアムクラス 21 席 普通席 384 席	プレミアムクラス 28 席 普通席 364 席
国内線ボーイング 787-8 型機 11 機	プレミアムクラス 12 席 普通席 323 席	プレミアムクラス 28 席 普通席 284 席

3. 普通席の新シートについて

普通席に導入する新シートは、自動車用シート業界でトップクラスのトヨタ紡織がもつ人間工学に基づく座り心地の知見や技術と、ANA が持つ航空機シートにおける安全性や快適性を実現するためのノウハウを詰めこみ、Japan Quality を追求したシートです。現在、国内線ボーイング 767-300 型機(6 機)に採用し、ご好評いただいているシートに新たな工夫を加え、快適性や座り心地を進化させました。シートファブリックはスタイリッシュなデザインで、シート毎に異なる多様な柄をお楽しみ頂けます。

さらに、国内線普通席としては最大となる 11.6 インチのタッチパネル式パーソナルモニターを装着し、機内での新たな過ごし方をご提供します。



(1) 新シートの特徴

■タッチパネル式パーソナルモニターの装着

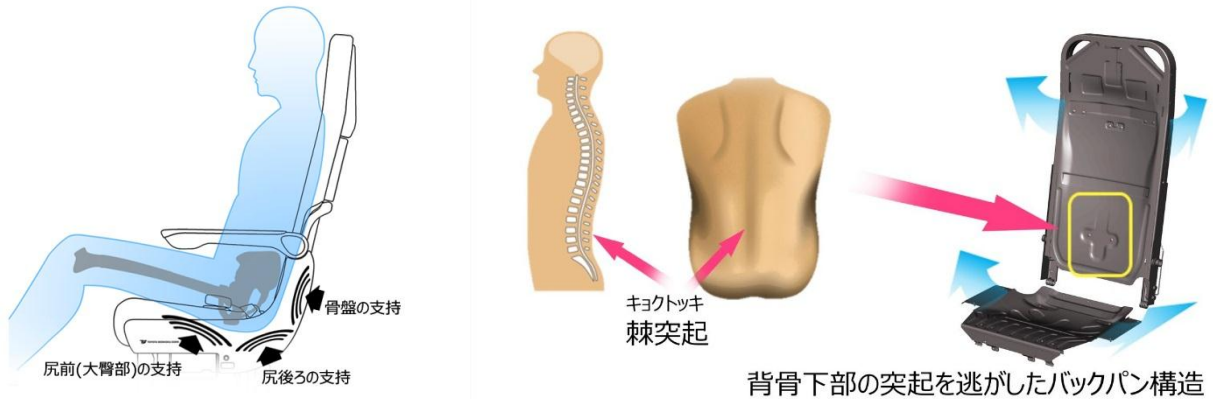
NEW!

・国内線普通席としては最大となる 11.6 インチのタッチパネル式パーソナルモニターを装着。国内線機内 Wi-Fi エンターテインメントとしてビデオ番組やオーディオ番組、電子書籍など約 190 コンテンツを高画質でお楽しみいただけます。

■座り心地へのこだわり

- ・現行のシートと同様、身体の根幹である腰をしっかり支えることで、リラックスできる姿勢を保持。
- ・どのような体格の方にも心地よく、フィットするシートを追求し、身体にかかる圧力をバランスよく分散。

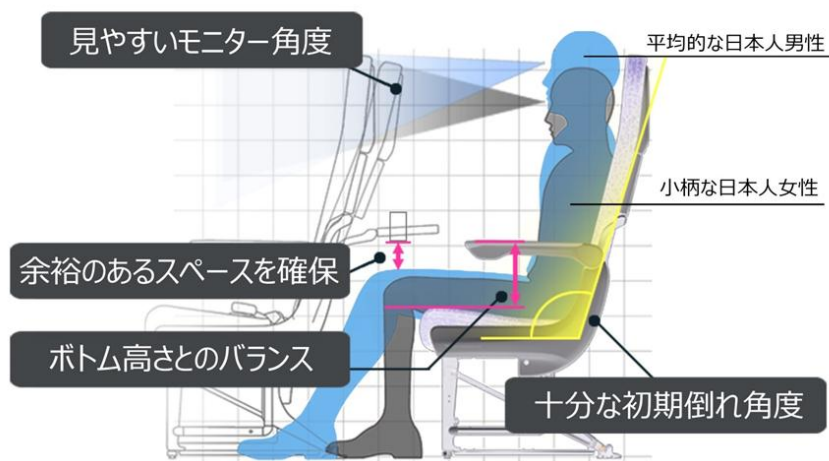
NEW! ・さらなるフィット感向上のため、背もたれのフレーム形状を最適化し、より広い体格差を吸収する工夫を追加。



■使いやすさへのこだわり

- ・テーブルやアームレストの高さや角度、形状などを誰もが心地よいと感じるように設計。

NEW! ・タッチパネル式パーソナルモニターはどのような体格の方にも見やすく使いやすい角度に設定。



NEW! ・カップホルダーをクローバー型に変更し、紙コップが取り出しやすいように改善。

NEW! ・シート前ポケットにはペットボトルなどを収納いただける小物入れを設置。

